

短  
信



選挙後初めての区政報告会を開催、後援会の大勢の方々に集まっていただきました



町内の人達と「神輿」をかつぎ 楽しい夏祭りを過ごしました



中野新橋商店街 恒例の「カラオケ大会」 今年は子供の参加が多く 人出も多かった



成澤文京区長の音頭により、青山先生(明治大学教授)と来日した王冬(日中友好協会)さんを囲んでの懇親会

歴史  
探訪

むかしむかしの中野村

桃の木たくさんあったとさ

前回は五代將軍綱吉の犬屋敷の話でした。30万坪の敷地に最盛期10万頭以上いたとも言われる「お犬様」が犬屋敷廃止後、どうなったのかは記録にありません。記録がないというのもまた不思議な話ですが、闇から闇に消えた犬はともかく、その跡地には八代將軍吉宗(在位1716~1745)の時代、紅桃と白桃が植えられました。



「中野村桃園春興」(江戸名所図会より)

吉宗は鷹狩りのため、しばしばこの地を訪れました。小川が流れ、小高い丘があり、眺めも良くて休息の地にはもってこい。

そこで吉宗は御立場を築き(現在の中野3丁目あたり)紅白の桃の木をたくさん植え「桃園」と呼ばせました。また近隣の村々に桃木を植えるよう奨励したので、中野村の周り数里は春ごとに桃花が咲き乱れ、まさに桃源郷。江戸中から身分を問わず人々が押し寄せ、花の下で饗宴を繰り広げ、村人によるわか仕立ての茶屋も11軒あったとか。挿絵は「中野村桃園春興」(江戸名所図会より)

やがて、この桃園にも終りが来ます。安永6年(1777)、この辺一帯が鶉(うずら)の御獵場となり、雑木が伐られるにつれ次第に桃の木も減り、明治の末まではわずかながら桃木が残っていたものの、今ではその面影すらありません。「桃園町」という由緒ある町名も昭和42年の住居表示実施とともに無くなってしまいました。

しかし、中野から「桃園」の名称がまったく消えたわけでもありません。例えば「桃園学校」(現在の区立桃園小学校)。この学校は明治8年(1875)4月、中野村を中心とした21か村の児童を集め、まず宝仙寺本堂を仮校舎として開校しました。まさに近代教育のさきがけとして130年以上の歴史を刻んだ中野周辺での最初の公立小学校です。「桃園川」もあります。今は暗渠となっていますが、吉宗が桃園に行く時は必ずこの川に架かった長さ2間、幅2間の「桃園橋」を渡りました。わずか3.6m四方の小さな橋ですが、昭和になって作られた石の欄干だけが中野通りに今でも残っています。

新春・日帰り懇親会の参加募集中  
小湊誕生寺初詣と  
南房総“勝浦ホテル三日月”



勝浦ホテル三日月

平成20年も良い年であることを祈念し、佐野れいじ後援会主催の日帰り初詣と昼食懇親会を行います。

今回は処を改め東京湾アクアライン・海ほたるパークエリアを巡り、小湊誕生寺で初詣、黄金風呂で知られる“勝浦ホテル三日月”で昼食懇親会、温泉をお楽しみいただけます。

日時：平成20年2月2日(土)  
7時10分出発 19時帰着予定

費用：7,600円

締切：平成20年1月15日(火)

連絡先：佐野れいじ後援会事務所

Tel.5354-8172 Fax.5302-0892

〒164-0012 中野区本町3-3-4 201号室

